

名古屋市立西味鏡小学校の総合学習を支援しました



一人ひとりがまもる土岐川・庄内川

土岐川・庄内川両河川水質協議会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



いのちとくらしをまもる
防災 減災

国土交通省
SHONAGAWA RIVER OFFICE

9月16日(金)に、矢田川こどもの水辺で実施された名古屋市立西味鏡小学校の総合学習を支援しました。授業では、児童たちにとって身近な川である矢田川でのガサガサ調査や水生生物の観察、水質調査などの体験を通して河川環境の大切さを学んでもうとともに、実際に水害を体験したことのない世代の児童に、近年の大規模水害や東海豪雨の様子を知ってもらうことで、水防災に対する意識の重要性を伝えました。

環境学習 ～ガサガサ調査～



環境学習 ～水生生物の観察～



環境学習 ～お魚タッチプール～



環境学習（水質調査：水道水と矢田川の水）



【参加した生徒：4年生34名】

★生徒たちの感想

- ・すみの方を足でガサガサすると、たくさんの魚やエビが捕まえました。魚やエビは命を落とさないように工夫していることが分かりました。
- ・矢田川の水をきれいにするためには、まず自分がポイ捨てを絶対にしないということを心がけたいと思いました。
- ・海に住んでいる魚と、川に住んでいる魚がいることを知りました。魚のとくちょうを聞いたり、どこにどんな魚が住んでいるかということを知りたいです、勉強になりました。
- ・お魚タッチプールでは、ウナギやクサガメをさわりました。矢田川のウナギだと聞いて、びっくりしました。
- ・水道水と矢田川の水をくらべると、矢田川の水の方がきたないということがわかりました。きれいにできないのかなぁと思いました。

防災学習 ～庄内川の流域治水～



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、消毒、検温等の対策を行い、開催しました。